

**2019年度**  
**二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金**  
**(再エネ水素を活用した社会インフラの低炭素化促進事業)**

**応募申請書作成について**  
**(保守点検支援事業 追加資料)**

**2019年10月**

**一般社団法人 環境技術普及促進協会**

1. 概要
2. 様式2-2 実施計画書
3. その他（根拠資料）

- 公募要領の対象事業の要件を確認の上、実施計画書を作成してください。
- 本資料では、追加記入項目について説明します。
  - 2 設備状況・・・CO<sub>2</sub>削減効果
    - ・・・水素製造に係る電力量

## 2. 様式2-2 実施計画書-1

### 水素ステーション保守点検支援事業

設備状況欄に、CO2削減効果・水素製造に係る電力量について、記入欄を追加

記入項目の追加

設備状況	再エネ水素ステーション		
	補助事業名		・再エネ水素ステーションを導入した時の「補助事業名」を記載ください。 (HOO、地域再エネ水素ステーション導入事業)
	設備内容・能力		
	設置日		
	CO2削減効果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・FCV等の年間走行距離等の目標及び実績を記入 (燃料電池フォークリフトの場合は、稼働時間等を記入) 2019年4月～9月までの6か月間の目標・実績(月別に記載)</li> <li>・6ヶ月の実績及び過年度の実績等に基づき年間の推計値を記入 年間走行距離等の推計値</li> <li>※CO2削減量(FCV走行距離等)が目標値を達成していること。 (水素ステーション導入時に交付申請書に記載された目標(計画))</li> <li>・必要に応じて別紙による詳細の記述を可とする。記入欄には、別紙の資料番号を記入すること。</li> </ul>
水素製造に係る電力量		<p>水素が製造される際に要する電力の全量相当分が再生可能エネルギーで賄われていること。(「水素が製造される際に要する電力」とは、プレクターなど付帯設備を含めた水素ステーション全体の電力をいう。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー発電電力量 &gt; 水素ステーション消費電力量</li> <li>再生可能エネルギー発電設備の仕様(容量)を記入(kwh)</li> <li>再生可能エネルギー発電電力量及び水素ステーションの電力量を記載する。 2019年4月～9月までの6か月間の実績(月別に記載)</li> <li>6ヶ月の実績及び過年度の実績等に基づき年間の推計値を記入 年間発電電力量見込/年間消費電力量見込</li> <li>再エネ発電電力量及び水素ステーション消費電力量の計測方法を記入</li> <li>再生可能エネルギー電力が不足する場合の対応策を記入すること。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①再エネ電力設備の増設</li> <li>②余剰電力がある既設再エネ発電設備の発電量を補填</li> <li>③グリーン電力・非化石証書等を使用し、超過見込分を購入</li> </ul> </li> <li>・必要に応じて別紙による詳細の記述を可とする。記入欄には、別紙の資料番号を記入すること。</li> </ul>	

### CO<sub>2</sub>削減効果

- F C V等の年間走行距離等の目標及び実績を記入  
(燃料電池フォークリフトの場合は、稼働時間等を記入)  
2019年4月～9月までの6か月間の目標・実績 (月別に記載)
  
- 6ヶ月の実績及び過年度の実績等に基づき年間の推計値を記入  
年間走行距離等の推計値
  
- ※ CO<sub>2</sub>削減量 (F C V走行距離等) が目標値を達成していること。  
(水素ステーション導入時の交付申請書に記載された目標 (計画) )
  
- 必要に応じて別紙による詳細の記述を可とする。記入欄には、別紙の資料番号を記入すること。

CO<sub>2</sub>削減効果

2019年4月～9月の目標と実績（FCV1台の走行距離）  
 (年間目標10,000km)

	目標	実績
4月	833 km	600 km
5月	833 km	925 km
6月	834 km	1,046 km
7月	833 km	844 km
8月	833 km	796 km
9月	834 km	873 km
合計	5,000 km	5,084 km

  

年間走行距離の推計値 (4月～9月実績)	10,184 km
(10月～3月見込)	5,084 km
	5,100 km

①水素ステーション導入時の交付申請書に記載された目標値を記入

②4月～9月の実績値を記入

③4月～9月の実績値をもとに年間の推計値を記入

走行距離等の年間目標について

水素ステーション導入時の交付申請に添付された実施計画書(写し)を添付してください。

## 水素製造に係る電力量

水素が製造される際に要する電力の全量相当分が再生可能エネルギーで賄われていること。

(「水素が製造される際に要する電力」とは、プレクーラーなど付帯設備を含めた水素ステーション全体の電力をいう。)

再生可能エネルギー発電電力量 > 水素ステーション消費電力量

- 再生可能エネルギー発電設備の仕様（容量）を記入（kwh）
- 再生可能エネルギー発電量及び水素ステーションの電力量を記載する。

2019年4月～9月までの6か月間の実績（月別に記載）

- 6ヶ月の実績及び過年度の実績等に基づき年間の推計値を記入  
年間発電電力量見込／年間消費電力量見込
- 再生可能エネルギー発電電力量及び水素ステーション消費電力量の計測方法を記入  
(電力計にて実績が計測できるか。)

### 水素製造に係る電力量

○再生可能エネルギー電力が不足する場合の対応策を記入すること。

①再エネ発電設備の増設

②余剰電力がある既設再エネ発電設備の発電量を補填

③グリーン電力・非化石証書等を使用し、超過見込分を購入

※対応策の確認・証明ができる資料等を添付すること。

○必要に応じて別紙による詳細の記述を可とする。記入欄には、別紙の資料番号を記入すること。



## 水素製造に係る電力量

太陽光発電設備 20kw h (新設)		
再エネ発電量及び水素ステーションの消費電力量		
	再エネ発電電力量	ステーション消費電力量
4月	1,988kw	1,026kw
5月	1,832kw	1,584kw
6月	2,032kw	1,793kw
7月	2,145kw	1,447kw
8月	1,737kw	1,364kw
9月	1,914kw	1,496kw
合計	11,648kw	8,710kw
年間発電量見込		
	4月～9月実績	11,648kw
	10月～3月見込	10,483kw
	合計	22,131kw
年間消費電力量見込		
	4月～9月実績	8,710kw
	10月～3月見込	8,743kw
	合計	17,453kw
再エネ電力：太陽光PCSで発電量を把握 水素ステーション消費電力：配電盤に電力計設置		
※FCVの走行距離が見込み値を上回った時でも、再エネ電力の発電量が、水素ステーション（全体）消費電力を上回る見込みである。		

①再エネ電力設備の種別・能力（新設・既設）

②4月～9月の再エネ発電電力量及び水素ステーション消費電力量の実績値を記入

③再エネ電力の年間発電電力量見込

④水素ステーションの年間消費電力量見込

⑤計測方法を記入

⑥再エネ発電電力量が不足する場合は、その対応策を記入

### 3. 添付1-2 その他（根拠資料）

FCV走行距離及び発電電力量・消費電力量の根拠となる資料を別紙にて添付してください。

- ・水素ステーション導入時の交付申請に添付された実施計画書(写し)
- ・FCV走行管理簿（走行距離の確認できる物）
- ・発電電力量データ（日別・月別）
- ・水素ステーション水素製造量（日別・月別）
- ・水素ステーション消費電力量（日別・月別）
- ・発電電力量及び消費電力量の計測方法
- ・既設再エネ発電設備の余剰電力量を証明するもの（売電状況など）
- ・再エネ電気を購入する予定の確約書（誓約書など）

以上